国際連盟と国際連合のちがい

国際連盟は、なぜ第二次世界大戦を防げなかったのか。国際連合はどこを変えたのか

国際連盟

1920年に設立

本部：ジュネーブ（スイス）

第一次世界大戦の後

第二次世界大戦の後

3つの物差しで比べる

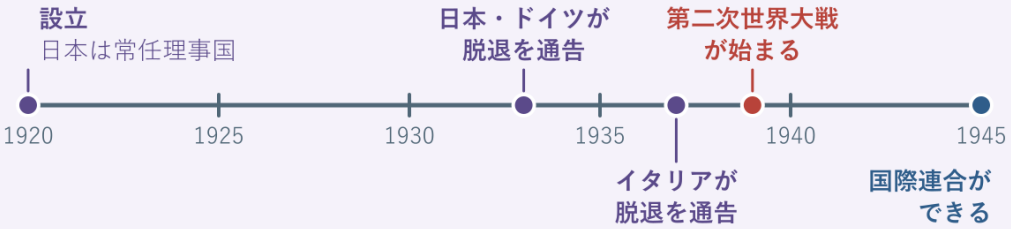
国際連合

1945年に設立

本部：ニューヨーク（アメリカ合衆国）

	国際連盟		国際連合
1	アメリカ合衆国は加わらず、ドイツ・ソ連も初めは加われなかった。のちに脱退した国も。	**参加した大国**	アメリカ合衆国・ソ連などの大国が初めから加わり、5か国が常任理事国になった。
2	総会・理事会は全会一致が原則。1か国でも反対すると決められない。	**決め方**	総会は多数決。安全保障理事会は9か国以上の賛成で決める（常任理事国は拒否権をもつ）。
3	制裁は経済的なものが中心で、軍事的な制裁の手段をもたなかった。	**平和を破った国への対応**	安全保障理事会が、経済的な制裁のほか、軍事的な措置を決めることができる。

国際連盟の歩み



国際連合のしくみにも課題がある

常任理事国が1か国でも反対すると、
安全保障理事会は決められない（拒否権）。

**平和を守るしくみは、歴史の経験から
見直されてきた。今も話し合いが続いている。**

※ しくみの要点を比べた模式図で、どちらがよいかを示すものではない。脱退の年は脱退を通告した年。